



『若菜摘み』画 荒井寛方

春日野に 飛火の野守 出でて見よ  
今いくかありて 若菜摘みてむ

(『古今和歌集』巻一・一八)

「若菜摘み」を題材にした和歌は、『万葉集』(八世紀)にはじまり、『古今和歌集』(十世紀)や『新古今和歌集』(十三世紀)にもみえます。若菜とは植物の新芽のことで、それを摘み食用や薬用にすることで生命力を取り込もうとしたと考えられます。

その舞台とされたのが「春日野」であり、都が移った後も古き良き時代を象徴するような地名であったことがうかがえます。

「春日野」や「春日山」の和歌表現の伝統についてご紹介いたします。

わかよ かの かの

# 和歌に詠まれた春日野・春日山

奈良県立万葉文化館 企画・研究係長

井上 さやか 氏

開催日：令和7年4月6日(日)

時間：午後1時 開始

場所：春日大社 感謝共生の館

講師：奈良県立万葉文化館 井上 さやか氏

会費：1,000円(当日受付にてお納めください)



## <当日の予定>

受付 12:30  
講演 13:00  
『万葉植物園』見学 14:30  
本殿参拝 15:30

\*ご参加の方は公共交通機関(バス・電車)をご利用ください。  
お車で越しの場合は、別途駐車料金¥1500が必要です。  
\*当日の状況により、予定内容を変更することがございます。

▼お申し込みはハガキ・FAX / お問い合わせはお電話で▼

TEL 0742-22-7788 FAX 0742-27-2114

春日大社の最新情報は

春日大社

検索

<http://www.kasugataisha.or.jp> を check !